



# 埼玉医科大学 (一般後期)

英語



1

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
①	①	②	②	④	④	③	④	③	①

2

11	12	13	14	15	16	17	18
①	①	②	④	③	④	③	①

3

19	20	21	22	23	24	25	26
②	①	④	②	①	④	④	①

4

27	28	29	30	31	32	33	34
④	②	①	①	③	④	③	②

5

35	36	37	38	39	40	41	42
④	①	③	①	②	①	②	③

## 講評


前期と同じく、文法の大問1つと、長文読解の大問4つの出題であった。長文の分量が若干減少した。

- 1：今年の前期と同じ、文法問題10題であった。基礎文法・構文知識の域を出るものはなかった。
- 2：「静寂が心身に与える好影響」について論じた会話文。本文も読みやすく、消去法に苦しむ選択肢もなかった。
- 3：「経済的な格差の可視性がさらなる不平等につながる」ということを述べる、Nature誌の記事“*Visible inequality breeds more inequality*”が出典であった。理系の受験生である医学部志望者には読みにくいテーマだったかもしれないが、選択肢は日本語のものが多く、研究課程の流れを処理していく問いがほとんどだったため、いかに消去法の処理をして答えを見つけていく算段がつけられたかがポイントとなる。
- 4：「人間の身体の装飾とその意義」について論じた英文であった。問8で要約系の問題が出題されたが、本文を飛ばし読み・流し読みするのではなく、本文を細かく読みながら要点をスピーディに捉えていくような集中力が必要だろう。
- 5：「言語の発話の中枢にできたマリナの脳腫瘍とその除去手術の困難さ」について、外科医が書いたエッセイであった。例年通り、大問5はエッセイ調の英文の出題であったが、今年の英文にはエッセイにありがちな理解に苦しむ没個人的な表現もなく、非常に読みやすかった。

この大学の受験を検討する場合、大問2と並んで大問5のような、やわらかめな英文の迅速な処理には慣れておく必要があると言える。全体として、難易度の高い問題の出題はないが、各長文を15分程度でどんどん読み進めていかなければならないというところ、つまり、英文内容を読解しながら各設問の選択肢の消去をスピーディに行っていくというところに関して、どれだけ訓練してきたかが合否を分けることになるだろう。

合格には7割以上得点したい。


### 渋谷校

 0120-142-760

受付9時～22時（日曜日のみ19時まで）

東京都渋谷区桜丘町6-2

### 名古屋校

 0120-148-959

受付9時～22時（日曜日のみ19時まで）

名古屋市中村区名駅2-41-20

CK18名駅前ビル2F・6F

### 大阪校

 0120-142-767

受付9時～22時（日曜日のみ19時まで）

大阪府吹田市広芝町4-34

江坂第1ビル3F

メルマガ登録（無料）で全教科閲覧できます！  
右のQRコードまたはHPからメルマガ登録ができます。



■医歯専門予備校 MELURIX学院

MELURIX